

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	情報基礎
科目基礎情報					
科目番号	0006		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	舞鶴高専Moodleにて授業内容に関する資料を提供する。				
担当教員	小野澤 光洋				
到達目標					
1 情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。 2 データサイエンス・AIに関する基本的な知識を習得し、その利活用技術について説明できる。 3 ネットワークや情報活用の有効性を理解し説明できる。 4 情報活用のための各種アプリケーションソフトを操作できる。 5 情報セキュリティ、情報倫理について理解している。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	情報処理の基本概念と基礎技術を十分に理解し説明できる。	情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。	情報処理の基本概念と基礎技術の理解が不十分であり、説明することができない。		
評価項目2	データサイエンス・AIに関する基本的な知識を十分に習得し、その利活用技術について十分に説明できる。	データサイエンス・AIに関する基本的な知識を習得し、その利活用技術について説明できる。	データサイエンス・AIに関する基本的な知識の習得が不十分であり、その利活用技術について説明することができない。		
評価項目3	ネットワークや情報活用の有効性を十分に理解し説明できる。	ネットワークや情報活用の有効性を理解し説明できる。	ネットワークや情報活用の有効性の理解が不十分であり、説明することができない。		
評価項目4	情報活用のための各種アプリケーションソフトを十分に活用できる。	情報活用のための各種アプリケーションソフトを操作できる。	情報活用のための各種アプリケーションソフトの操作ができない。		
評価項目5	情報セキュリティ、情報倫理について十分に理解している。	情報セキュリティ、情報倫理について理解している。	情報セキュリティ、情報倫理について理解していない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (ii -s2)					
教育方法等					
概要	Windows等に関する講義と実習を行いながら、情報処理の基本概念と技術を理解する。又、各種アプリケーションソフトを幅広く使用し、情報処理の基本技術を習得すると共に、情報活用の有効性を体験・学習する。				
授業の進め方・方法	【授業方法】 講義を中心として進める。随時、授業中に演習課題を行う。moodleにて授業内容に関する資料を提供する。 【学習方法】 教科書や授業中の演習課題を中心に学習すること。				
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 定期試験と定期的に演習課題を実施する。定期試験の試験時間は50分とする。評価は定期試験(60%)と演習課題の内容(40%)を総合的に判断して評価する。また、到達目標の各項目の達成度を成績評価基準とする。 【備考】 授業で学習した内容は必ず復習すること。 【教員の連絡先】 研究室 非常勤講師室 内線電話 e-mail: onozawaアットマークg.maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明, 情報社会におけるコンピュータの利用について	1	
		2週	コンピュータの利用とデータサイエンス・AI入門	2	
		3週	ネットワーク入門, 電子メールの基本知識と操作及び設定	3	
		4週	ウインドウズの操作の基礎, データ操作の基礎	4	
		5週	ワープロソフトを使っの簡単な文書作成	4	
		6週	ワープロソフトを使っの図・表の利用	4	
		7週	ワープロソフトの課題問題	4	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	表計算ソフトを使っの簡単な計算処理と関数の利用	4	
		10週	表計算ソフトを使っのシート間の計算	4	
		11週	表計算ソフトを使っのデータベース機能の利用	4	

	12週	表計算ソフトの課題問題	4
	13週	プレゼンテーションソフトの活用	4
	14週	情報セキュリティ	5
	15週	情報倫理	5
	16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0